

# 令和元年度 町立中標津病院 新経営改革プラン 実績

改革プランページ

P16 【医療機能等指標に係る数値目標】

		計画	実績	比較
町外患者受診割合(%)	外来	42.0	31.3	▲10.7
	入院	43.0	32.8	▲10.2
救急患者数(人)		690	497	▲193
手術件数(件)		750	691	▲59
分娩件数(件)		290	207	▲83
医療相談件数(件)		5,500	5,586	86

2年度目標	実績との比較
43.0	▲11.7
45.0	▲12.2
700	▲203
800	▲109
300	▲93
5,500	86

P17 【経営指標に係る数値目標】

	計画	実績	比較
許可病床数(床)	140	199	59
稼働病床数(床)	140	127	▲13
1日平均入院患者数(人)	106	83	▲23
1日平均外来患者数(人)	640	599	▲41
病床利用率(%)	75.7	41.9	▲33.8
入院患者1日当り収入(円)	40,867	41,821	954
外来患者1日当り収入(円)	8,655	8,883	228
経常収支比率(%)	100.6	95.7	▲4.9
医業収支比率(%)	78.1	74.1	▲4.0
職員給与費比率(%)	56.6	56.4	▲0.2
材料費対医業収支比率(%)	20.8	22.0	1.2
収益収支：純損益(百万円)	25	▲182	▲207
一般会計繰入金(百万円)	1,502	1,548	46

2年度目標	実績との比較
140	59
140	▲13
112	▲29
680	▲81
80.0	▲38.1
41,275	546
8,785	98
104.3	▲8.6
82.2	▲8.1
54.0	2.4
20.0	2.0
182	▲364
1,497	51

注) 1. 病床利用率は稼働病床で記載  
2. 入院患者1日当り収入は急性期病床における金額を記載

【診療科及び医師数】

	計画	実績	比較
診療科(科)	14	14	0
常勤医師数(人)	21	20	▲1

2年度目標	実績との比較
14	0
22	▲2

注) 医師数には嘱託医師含む

P18 【診療科医師状況】

診療科	区分	計画	実績	比較
内科	常勤	4	5	1
	嘱託	1		▲1
小児科	常勤	1	1	0
	嘱託			0
外科	常勤	3	2	▲1
	嘱託	1	1	0
整形外科	常勤	2	1	▲1
	嘱託		1	1
産婦人科	常勤	1	1	0
	嘱託	2	3	1
泌尿器科	常勤			0
	嘱託			0
耳鼻咽喉科	常勤	1	1	0
眼科	常勤	1		▲1
皮膚科	常勤	1	1	0
麻酔科	常勤	1	1	0
精神科	常勤	1	1	0
放射線科	常勤	1	1	0
循環器科	常勤			0
リハビリテーション科	常勤	整形外科 医師兼務	整形外科 医師兼務	整形外科 医師兼務
合計	常勤	17	15	▲2
	嘱託	4	5	1
	合計	21	20	▲1

2年度目標	実績との比較
4	1
1	▲1
1	0
	0
3	▲1
1	0
2	▲1
	1
1	0
2	1
1	▲1
	0
1	0
1	▲1
1	0
1	0
1	0
1	0
18	▲3
4	1
22	▲2

	計画	実績	比較
助産師	11	11	0
看護師	76	72	▲4
准看護師	17	16	▲1
看護助手	8	6	▲2
看護職計	112	105	▲7
医療技術職員	41	41	0
事務職員	17	15	▲2

2年度目標	実績との比較
11	0
76	▲4
17	▲1
8	▲2
112	▲7
41	0
17	▲2

P21【収支計画】

① 収益的収支計画

(単位：百万円、%)

年度		元年度 (計画)	元年度 (実績)	比較
区 分				
収 入	1. 医 業 収 益 a	3,216	2,992	▲ 224
	(1) 料 金 収 入	2,832	2,567	▲ 265
	(2) そ の 他	384	425	41
	うち他会計負担金	221	271	50
	2. 医 業 外 収 益	1,056	1,055	▲ 1
	(1) 他会計負担金・補助金	1,002	996	▲ 6
	(2) 国 ( 道 ) 補 助 金	5	4	▲ 1
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	27	28	1
	(4) そ の 他	22	27	5
	経 常 収 益 (A)	4,272	4,047	▲ 225
支 出	1. 医 業 費 用 b	4,119	4,040	▲ 79
	(1) 職 員 給 与 費 c	1,821	1,688	▲ 133
	(2) 材 料 費	668	565	▲ 103
	(3) 経 費	1,357	1,518	161
	(4) 減 価 償 却 費	257	254	▲ 3
	(5) そ の 他	16	15	▲ 1
	2. 医 業 外 費 用	128	189	61
	(1) 支 払 利 息	63	61	▲ 2
	(2) そ の 他	65	128	63
	経 常 費 用 (B)	4,247	4,229	▲ 18
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	25	▲ 182	▲ 207	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)			0
	2. 特 別 損 失 (E)			0
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)	25	▲ 182	▲ 207	
累 積 欠 損 金 (G)	5,872	6,239	367	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	488	488	0
	流 動 負 債 (イ)	1,171	1,535	364
	うち一時借入金	420	830	410
	翌 年 度 繰 越 財 源 (ウ)			0
	当 年 度 同 意 等 で 未 借 入 又 は 未 発 行 の 額 (エ)			0
	差 引 不 良 債 務 (オ) {(イ)-(エ)} - {(ア)-(ウ)}	683	1,047	364
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	100.6	95.7	▲ 4.9	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	21.2	35.0	13.8	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	78.1	74.1	▲ 4.0	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	56.6	56.4	▲ 0.2	
地 方 財 政 法 施 行 令 第 15 条 第 1 項 に よ り 算 定 し た 資 金 の 不 足 額 (H)	226	596	370	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	7.0	19.9	12.9	
病 床 利 用 率	75.7	41.9	▲ 33.8	

2年度目標	実績との比較
3,406	▲ 414
3,019	▲ 452
387	38
224	47
1,042	13
999	▲ 3
5	▲ 1
16	12
22	5
4,448	▲ 401
4,144	▲ 104
1,839	▲ 151
682	▲ 117
1,359	159
248	6
16	▲ 1
122	67
58	3
64	64
4,266	▲ 37
182	▲ 364
	0
	0
0	0
182	▲ 364
5,690	549
511	▲ 23
879	656
200	630
	0
	0
368	679
104.3	▲ 8.6
10.8	24.2
82.2	▲ 8.1
54.0	2.4
0	596
0.0	19.9
80.0	▲ 38.1

(単位：百万円、%)

年 度		元年度 (計画)	元年度 (実績)	比較
区 分				
収	1. 企 業 債	102	61	▲ 41
	2. 他 会 計 出 資 金	279	282	3
	3. 他 会 計 負 担 金			
	4. 他 会 計 借 入 金			
	5. 他 会 計 補 助 金			
	6. 国 ( 道 ) 補 助 金		15	15
	7. そ の 他			
収 入 計 (a)		381	358	▲ 23
入	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)			
	前年度許可債で当年度借入分 (c)			
	純 計 (a)-{(b)+(c)} (A)	381	358	▲ 23
支	1. 建 設 改 良 費	102	76	▲ 26
	2. 企 業 債 償 還 金	469	474	5
	3. 他会計長期借入返還金			
	4. そ の 他			
支 出 計 (B)		571	550	▲ 21
収 支 不 足 額 (B) - (A) (C)		190	192	2
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	189	99	▲ 90
	2. 利益剰余金処分量			
	3. 繰越工事資金			
	4. そ の 他	1	1	0
計 (D)		190	100	▲ 90
補てん財源不足額(C)-(D) (E)		0	92	92
当年度同意等で未借入 又は未発行の額 (F)				
実質財源不足額 (E) - (F)		0	92	92

2年度目標	実績との比較
70	▲ 9
274	8
	15
344	14
344	14
70	6
457	17
527	23
183	9
182	▲ 83
1	0
183	▲ 83
0	92
0	92

③ 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位：百万円)

年 度		元年度 (計画)	元年度 (実績)	比較
区 分				
収 益 的 収 支		(226)	(154)	(▲ 72)
		1,223	1,266	43
資 本 的 収 支		279	282	3
		(226)	(154)	(▲ 72)
合 計		1,502	1,548	46

2年度目標	実績との比較
(225)	(▲ 71)
1,223	43
274	8
(225)	(▲ 71)
1,497	51

注) ( ) 内は、基準外繰入金額

## P19【目標達成に向けた具体的な取り組み】

### ②医師等の人材確保

#### イ. 医療スタッフの確保

- ・看護師確保を図るため札幌市・旭川市・名寄市の看護学校5ヶ所へ訪問しPRを行った。
- ・看護師確保を図るため13名に対し修学資金の貸付を行った。(貸付者 令和元年度:2名採用。)
- ・薬剤師確保を図るため北海道科学大学薬学部を訪問しPRを行った。
- ・町内及び近隣3町の高等学校を訪問し、医療技術職員養成修学資金貸付金の説明会を行った。

### ③経営改革に富む人材の登用及び事務職員の人材開発の強化

- ・経営再建のため、病院経営コンサルタント委託業務について、検討を行った。  
(令和2年4月より委託を開始する。)

## P20⑦経費の削減・抑制

#### イ. 医療機器の計画的整備

- ・後年度の負担軽減を図るため計画時に6千万円の医療機械器具購入予定額としていたが、3千5百万円まで抑制できた。

#### ウ. 医療材料の適正管理

- ・診療材料の管理・払い出しについて、委託化を行った。  
(委託開始:平成31年4月1日 委託業者:株式会社医療保険経理研究所)
- ・薬品・診療材料の適正管理に努めることにより、診療収入に占める材料費率が低下。  
(平成30年度:23.0% ⇒ 令和元年度:22.0% =▲1ポイント、効果額 対前年2,600万円減。)

## 【町立中標津病院運営委員会からの意見・提言】

- ① 地域包括ケアシステムの充実について、町と病院が連携して住民の声を大事にしながら対応を図ってほしい。
- ② 昨秋の運営委員会で話題となった病院の再編・統合の問題については、コロナの感染拡大により、地域医療体制の拡充が重要だと皆が理解したと思う。
- ③ 感染対策を十分に行い、秋には通常の運営委員会を開催してほしい。